

鑄物師の里 五位堂 藤原定次

津田家の新発見資料から

【ご来館される皆様へ】

新型コロナウイルス感染拡大防止のためにマスクの着用、体温測定と手指の消毒にご協力ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催日直前に関連催事の中止や順延を決定する場合があります。

香芝市の下田と五位堂は、かつて鑄物産業が栄えた地として広く知られています。

五位堂鑄物師は、16世紀末から17世紀初頭に台頭してきました。現在、五位堂鑄物師の流れを汲む三家（杉田家・津田家・小原家）のうち、津田家が唯一操業を続けられています。三家には、鑄物業に関する近世・近代文書をはじめ、鑄物師が実際に使用した生産用具や製品の鍋釜・農具類、梵鐘鑄造などの鑄型類が残されています。このような鑄物業に関する資料が一括して保存されているケースは全国的にも珍しく、民俗文化財として非常に価値があります。

当館では、杉田家・小原家の鑄物資料を保管していますが、津田家では令和3年度から資料調査を実施し、貴重な資料を多数発見しており、現在整理を継続しています。

津田家は、慶長19年(1614)、のち豊臣家滅亡の端緒となった「国家安康」で知られる京都方広寺の梵鐘鑄造に携わり、その功績から「藤原求次周防少掾」を、寛文4年(1664)には、「藤原定次大和目」を賜っています。確認できる製品はこの定次からで、明治期までに梵鐘43件、半鐘39件、湯釜9件、燈籠1件、その他3件の95件が知られています。

本特別展では、津田家文書（市指定）以外は全て初公開になります。あわせて中央公民館でも「杉田家の梵鐘」(鑄型)を展示しますので、これを機に本市の重要な産業であった鑄物業の具体的な動向と、それを担った鑄物師に関心を寄せて頂きたいと企画しました。



阿日寺(良福寺)梵鐘
貞享2年(1685)

特別展関連講演会

●特別展記念講演会

11月20日(日)午後2時～(開場 午後1時)

演題「大和五位堂鑄物師とは

～新発見の津田家資料から～

講師 奥田 昇・香芝市教育委員会文化財課

●公開講演会

12月4日(日)午後2時～(開場 午後1時)

演題「大和五位堂鑄物師の展開」

講師 吉田 栄治郎氏・(公財)郡山城 史跡・柳沢文庫保存会研究員

会場●ふたかみ文化センター2階・会議室

定員：80名(先着順・事前申込必要)

申込みは、e古都なら電子申請か博物館窓口でお願いします。

9月21日から受付開始、詳しくは博物館ホームページまで。

<http://kashiba-mirai.com/>

*聴講は無料です。特別展/常設展の観覧には、観覧料が必要です。

特別展記念講演会QRコード



公開講演会QRコード



●二上山博物館【出張展示】

鑄物師の里 五位堂

杉田家の梵鐘 **無料**

展示期間：10月29日(土)～11月30日(水)

場所：香芝市中央公民館1階ロビー

(香芝市下田西三丁目7-5)

休館日：第一木曜日



●アクセス



【鉄道】 JR香芝駅(和歌山線)下車、西へ約750m。

近鉄下田駅(大阪線)下車、西へ約500m。

近鉄二上山駅(南大阪線)下車、東へ約1.4km。

【自動車】 西名阪自動車道、香芝ICから国道168号線を南へ約

3km。柏原ICから国道165号線を東へ約5.4km。

駐車場有(無料)

香芝みらい創造プロジェクト

香芝市二上山博物館

Kashiba City Nijyousan Museum

〒639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目17番17号

香芝市文化施設 ふたかみ文化センター1階

TEL：0745-77-1700/FAX：0745-77-1601

メール infomuseum@kashiba-mirai.com

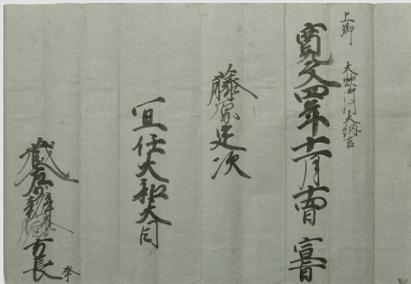
■開館時間 午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日

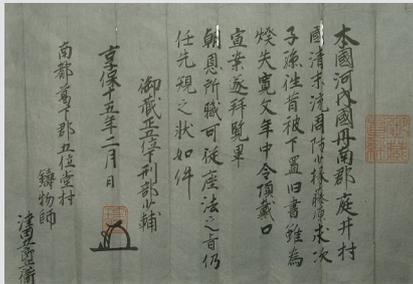
■観覧料 一般350円(300円)高・大学生250円(200円)

小・中学生150円(100円)

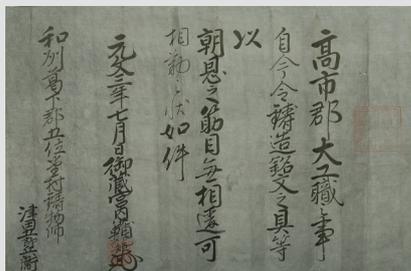
* () 内は20名以上の団体割引



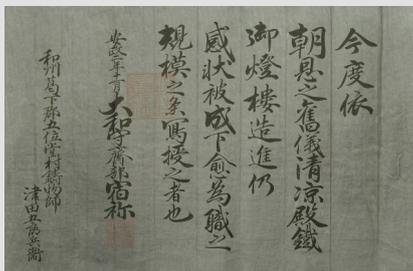
藤原定次 口宣案写(市指定)
寛文4年(1664)



鑄物師職許状(市指定)
享保15年(1730)



高市郡大工職之事(市指定)
元文3年(1738)



鉄燈籠造進之感状(市指定)
安政2年(1855)



写真提供：五位堂工業株式会社